



一般社団法人
東靴協会
千代田区鍛冶町1-6-17
〒101-0044 ☎(3252) 5656
(6月号)

一般社団法人東靴協会 第四回定時総会開催

平成28年6月8日午後2時より西村記念ホールに於いて当協会の第四回定時総会が開催された。

司会の松戸副会長より本日の参加者28名、委任状65名、合計93名の出席で過半数を満たし総会が成立することを報告した。

栗原茂副会長が「本日の総会での慎重審議をよろしく。」と開会を宣言した。

続いて、小堤会長より「昨今、業界では業績が良くない、特に婦人靴が厳しいというような話が耳に入ります。全般にはスニーカーが良いので横這いのところも多いと聞いておりますが、皆様のお店はいかがですか。靴業界でも専門性は進んではおりますが、さらに得意分野を伸ばす努力をしないとギリ貧になつてしまふでしょう。」

世の中の進化は進んでいます。特に車載ナビで、渋滞予測をして早いコースを案内するなど進化は驚きです。他にも世の中の変化は進んでいます。商売でも変化に対応して行くよう心掛けて乗り切ってください。」と挨拶をした。

続いて、永年勤続者の表彰に移り、5年勤続表彰者が株式会社フタバや靴店の鈴木千恵様、鹿島祐子様、浅子有紀様、新保幸代様の4名に、10年勤続表彰者も同フタバや靴店から高本浩行様、本田久仁男様、辰巳雅朗様、宮崎裕介様、根藤潤様、安河内淳様、野口寿夏様の7名が表彰され総会に移った。



司会者より定款により「会長が総会の議長を務める。」との規定により、小堤幸雄氏を議長に選出する旨、同に宣言した。議長は浅草支部の小澤理事、世田谷支部の田中理事の2名を議事録署名人に選出し、議事に移った。

シューフィッターの皆様へ
住所・勤務先等変更が生じた時は必ず協会までご連絡をお願いします

第一号議案

平成27年度事業報告書

承認の件
議長は本件を上程、事業報告書を矢代事務局長代理より資料に基づき詳細にわたり説明を行った。

第二号議案

平成27年度収支決算書

承認の件
議長は本件を上程、事務局田中早映子氏より収支決算書を詳細にわたり説明を行い、続いて、梶泰和常任監事より5月30日に関係書類を綿密に調査したところ、いずれも正確かつ妥当であることを認めた旨を報告した。

一号議案、二号議案について一同に諮ったところ、異議なくこれを承認可決した。

第三号議案

平成28年度事業計画案

承認の件
議長は本件を上程、矢代事務局長代理より資料に沿った事業計画案の説明を行った。

第四号議案

平成28年度収支予算案

承認の件
議長は本件を上程、事務局

田中早映子氏から収支予算書の詳細説明あり、二号議案、四号議案について一同に諮り、満場一致で可決承認された。

第五号議案

理事変更に関する件

シューパブ取締役社長の交代により長谷川晋一氏から高橋清徳氏に理事が交代となる。一同に諮りこれを承認可決した。

第六号議案

その他の件

この件について場内に諮り、上程が無かったため協会の総会は終了となった。

続いて共助会の総会に移り、田中早映子氏から別紙の資料により収支決算の報告があった。一同に諮りこれを承認可決した。予定の案件はすべて承認され総会を終えた。引き続き今年も江原税理士より講評を話して頂いた。

江原税理士講評

今年の決算も順調に推移しております。個々の事業については把握しておりませんが、数字から見ると順調な内容となっております。

中長期的に見てみると少し気になることがあります。

それはビルの耐震化です。耐震工事について諸事情があり進んでいないようです。地震はいつ来るのか予想が付きません。それに向けて、災害用の備品を準備しておくとか、食料の備蓄等を考えておく必要があるのでは

よう。
良く言われているように、最低3日分の備蓄が必要です。

又、皆様それぞれの会社でも準備が必要です。このような備品や食料は購入した際、全額が経費として認められます。今までのように消化した際経費となるのではなく、購入した時点で全額が経費となりますので、皆様の会社でも是非準備を進めてください。

また、地震保険は耐震工事が終わっていない場合などは十分な補償を受けられない。慎重に検討したほうが良い。と、貴重なお話を頂いた。

本年度役職(継続)

会長・小堤幸雄
副会長・栗原茂、松戸福治、栗原昭宣
常務理事・恩田勝彦、東條英樹、兼松孝次、谷口秀夫、須藤教夫
理事・田中省一、吉田弘、森嘉明、矢代健二、岡本圭司、小林久志、高橋清徳、小澤武彦、木内二郎
専務理事・佐宗秀行
常任監事・梶泰和
監事・井上廣、青木隆史
相談役・清水岩男、井本欽勇、川上久和、矢代裕夫
(以上敬省略)

大手三社の決算

大手3社の平成28年2月期
(27年3月～28年2月)の決算
が次のように発表された。

(別表参照)

社名	連結経営成績 /前期比	売上高 (百万円) %	営業利益 (百万円) %	経常利益 (百万円) %	当期純利益 (百万円) %
ABCマート	28年2月期	238,154/11.5	41,514/4.7	42,196/4.4	26,130/7.2
	27年2月期	213,583/13.6	39,651/16.2	40,405/16.1	24,373/21.9
チヨダ	28年2月期	144,504/1.0	9,372/20.9	9,927/20.3	4,882/17.2
	27年2月期	143,005/-3.0	7,753/-26.4	8,253/-25.2	4,165/-28.8
ジーフット	28年2月期	103,933/0.4	5,515/0.1	5,473/0.2	2,814/0.5
	27年2月期	103,467/5.2	5,507/23.3	5,465/23.6	2,801/28.4

◎ABCマート

スニーカー業態の店舗開発

テレビ・雑誌などの広告での販促により、ファッションとしてのスニーカー需要を高める取り組みを行い、スポーツシューズの販売強化に努め、増収増益となった。

高単価のファッションスニーカーやランニングシューズの需要が高く、ナショナルブランドの品揃えを拡充させ、メンズ、レディース、キッズともにスニーカーを中心とした戦略を実施した。

客数・客単価は、商品の平均単価が上昇したことで、高単価商品の購買が増加し、前期比1割増しとなった。

店舗展開は、新業態店舗を含め74店の新規出店を実施。

新業態としてカジュアルラインのセレクト系スニーカー専門店「エスシユーズ」と、スポーツファッションショップ「エス・シユーズ・スタジオ」の業態開発も進めている。

◎チヨダ

連結決算で9期ぶり、単体決算では20期ぶりの増収

有名ブランドのスニーカー販売強化、仕入れ窓口の一本化、店舗改装が売り上げを牽引。一方、円安に伴う商品単価の上昇や、消費者の節約志向による買い控えなどで客数が前年比4.4%減少した。

今期は、グローバルブランドの

プロパー消化率の向上、既存PBの新規ラインの投入の計画。客数の向上策として入りやすい店舗への改装を実施。コミュニケーションの拡大、カジュアル提案の強化を計画。

また、中期経営計画の重点施策を発表している。

①PBとグローバルブランドとのハイブリッド政策の推進。

②高付加価値、プレミアムラインPB(二万円以上)への取り組み。

③店舗コンセプトの刷新。

主力業態の靴流通センターとシューズプラザの店舗イメージを刷新する改装を実施。

④繁華街などへの積極出店、不採算店舗の閉鎖。

◎ジーフット

ネット店舗を活用した、オムニチャネルを推進

期間中の11月に東証1部に新規上場をたし、これまでの名証でも2部から1部に市場替えを行い、さらなる企業価値の向上を果たした。

事業の基本に「デジタルシフト」「都市シフト」「シアシフト」「アジアシフト」「地域密着」を掲げ事業展開している。新たなマーケット創造に向けて新業態開発プロジェクトの発足、デジタルシフト推進部、ブランド企画部設置などを実施し、収益性の向上を図る。

店舗開発については、イオン

倉敷店において、日本最大規模の販売額を誇るグリーンボックス・イオン倉敷店の子供靴売り場を「クツラ」の店名で、展開を始めた。

また、メイド・イン・ジャパン。メイド・イン・イタリア。で製法にこだわった紳士靴コーナー「匠」を立ち上げた。今後も順次拡大の計画。

社名		h27年	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	h28.1月	2月	3月	4月	5月
ABCマート	既存店 (前年比%)	売上高	-1.0	7.1	6.2	12.8	8.3	0.8	-0.5	10.1	9.0	6.0	3.4	-0.8
		客数	-10.5	-5.5	-6.7	-0.2	-0.6	-7.8	-9.7	-1.0	-1.5	-2.9	-1.7	-2.9
		客単価	10.6	13.3	13.8	13.0	9.0	9.4	10.2	11.2	10.6	9.2	5.3	2.2
	全社 (前年比%)	売上高	1.9	10.1	9.7	16.8	13.5	5.2	4.7	15.8	14.3	10.3	7.1	2.7
		客数	-7.7	-2.8	-3.6	3.3	3.9	-3.9	-5.1	4.0	3.4	1.1	1.5	0.4
		客単価	10.5	13.2	13.7	13.1	9.2	9.5	10.3	11.3	10.5	9.1	5.5	2.3
チヨダ	既存店 (前年比%)	売上高	-3.3	6.9	6.7	10.7	4.0	3.6	-13.8	18.3	-4.2	-1.4	0.0	-4.7
		客数	-9.1	-2.4	-1.2	1	-3.1	-4.4	-18.2	7.8	-11.6	-9.1	-8.3	-10.9
		客単価	6.3	9.4	7.9	9.5	7.2	8.3	5.3	9.6	8.3	8.4	9.0	6.9
	全社 (前年比%)	売上高	-3.5	6.6	6.4	10.6	3.8	2.8	-14.3	17.6	-4.7	-3.0	-1.9	-6.3
		客数	-9.5	-2.8	-1.5	0.9	-3.3	-5.2	18.8	7.2	-12.0	10.5	10.1	-12.5
		客単価	6.6	9.6	7.9	9.6	7.3	8.3	5.5	9.6	8.3	8.4	9.0	7.1
ジーフット	全社	店舗数	1097	1096	1087	1092	1092	1090	1092	1083	1074	1070	1074	1072
		売上高	-11.7	0.1	-5.2	2.0	-3.2	-6.3	-13.6	6.0	-1.5	-7.2	0.9	-3.8
		客単価	-6.1	5.7	0.4	8.0	1.9	-1.9	-9.6	11.0	4.1	-2.3	5.5	-1.9
ジーフット	全社	客単価	843	858	860	862	868	871	875	872	869	877	882	878
		店舗数	843	858	860	862	868	871	875	872	869	877	882	878

生産は先進国に 回帰する?

独アディダス社はドイツ南部アンスバハに新設する「スピードファクトリー」で17年からロボットによる靴の生産を始めるそう。同社は93年に国内生産から撤退してアジアでの外注生産に転じており、四半世紀ぶりの国内回帰となる。

背景はアジアの経済発展による生産コストの高騰と先進国市場における需給ギャップで、先進国でのロボット生産でコストを削減し消費地のニーズにタイムリーに因應するためと推察される。アディダス社は先進国でのロボット生産は部分的なものでアジアの下請工場に直ちに替わるものではないとしているが米国内でもロボット生産を計画しており、大量生産のベージックラインはアジアでの労働集約的計画生産、中少量生産のデザインラインは消費地での機動的ロボット生産、と使い分けるものと推察される。ナイキにも同様な動きが見られるから、グローバルなスポーツブランドに共通する戦略転換なのだろう。

靴に限らず、台湾のフォックスコン(シャープを買収した世界最

大のEMSホンハイ)もロボットの大量導入で生産性の飛躍的向上を計画しているし、日本の島精機も独自技術のホールガーメントニット自動生産システムで国内回帰を目論んでいる。アパレル生産が空洞化し果てたとは言え我が国の繊維機や編み機、縫製ミシンなど繊維機械産業は輸出産業として健在で、労働集約産業と言われて低賃金国へ移転が進んだアパレル生産も技術革新による高速自動生産で国内回帰が可能だと気焰を揚げている。

世界の製造業は東西冷戦が終結した90年以降、旧社会主義圏を取り込んでグローバル水平分業が急進し、日本の繊維産業に限らず先進国の労働集約産業は悉く空洞化した。近年の新興国賃金の高騰とIoT(*)など技術革新の急進で労働集約産業も先進国回帰が可能となる一方、遠く離れた新興国での計画生産と先進国消費地での販売消化とのギャップが経営を圧迫するに及び、生産の先進国回帰が一気に進み始めたと言われている。

とは言え我が国のアパレル製造業は長年の業績萎縮で資金

も乏しく、大規模な設備投資に踏み切れる事業者は限られる。生産の海外移転とともに輸出で業績を伸ばして来た繊維機械産業が本気で国内製造事業者への啓蒙と与信に踏み切るのか、行政の後押しも含めて動向が注視される。

(小島健輔ブログより)

*IoT(Internet of Things)

あらゆる物がインターネットを通じてつながることによって実現する新たなサービス、ビジネスモデル、またはそれを可能とする要素技術の総称。

草の根運動で 健康寿命を延ばす

今日、平均寿命と健康寿命との差があり過ぎ、大きな社会問題となっている。

国はメタボ検診などによってその差を縮めようとしているが、国民自身も死ぬまで健康でいたいと願っている。

そのため、食をはじめとした様々な健康情報が飛び交い溢れている。

その中で、健康のための運動として、早くからウォーキング、ラ

ンニング、エアロビクスなど多様なフィットネス運動が広がり、それぞれに適したシューズの開発が進んでいる。

一方、人それぞれの嗜好や体力の違いに依りて、より狭義のフィットネス運動も提案され、草の根運動により普及活動が進んでいる。

その中でシューズ企業が中心となつて普及活動しているのがノルディックウォーク、スロージョギングなどである。ノルディックウォークは2本のストックを使い歩行運動を補助し、運動効果をより高めるもので、欧州などで早くから普及しており、ムーンスターが専用シューズを開発してきた。

また、スロージョギングはウォーキングよりエネルギー消費が大きく様々なメタボ対策に適した運動として日本で開発され、アサヒコーポレーションが専用シューズを開発している。

いずれも協会が設立され、草の根運動で地道な普及活動が進められている。

今後益々高齢化社会になり運動の意識高まり、各シューズの需要の高まりが予想される。

(シューズポスト誌より)

(株)ユーロパシフィック ジャパンが 民事再生法申請

株式会社ユーロパシフィック ジャパン(東京・渋谷区)は5月9日に東京地裁へ民事再生法の適用を申請し、監督命令を受けた。

1997年8月に設立。英・伊・米などの海外からのインポートシューズの日本総代理店として、ブランドシューズの輸入・販売のほか、自社オリジナルブランド商品を企画販売。

また、一部国内アパレルメーカーやセレクトショップ向けにOEM生産を行っていた。直営店「SHOEBAR」などの店名で直営店11店を展開し、15年7月期には年商約18億円を計上していた。

しかし、近年には円安による影響で収益が圧迫され、今年に入り、取引先から信用不安が出回るなど、動向が注目されていた。

負債は約8億8千万円。

理事会・支部連絡会

だより

平成二十八年五月二十三日(月)
午後2時、西村記念ホール

小堤会長から「インバウンド需要が続いていましたが、爆買も減少の様子が現れてきたようです。ある意味で正常に戻りつつあり、接客を含め基本の取り組みが大切になってくると感じます。6月8日の総会を控えて、この後の審議をよろしくお願いいたします。」と挨拶。

続いて司会の松戸副会長より、本日の出席者数が25名との報告の後、議事に入った。

矢代事務局長代理より、6月8日開催の総会資料に関する内容についての審議を諮った。平成27年度事業報告について、矢代事務局長代理が資料を読み上げ説明を行った。続いて田中事務局員より平成27年度の収支決算書について資料を読み上げ、説明した。

場内に諮りこの内容で総会に臨む件、一同承認をした。

続いて平成28年度事業計画案、及び収支予算案を、矢代事務局長代理、田中事務局員よりそれぞれ説明があった。この内容で5月30日の監査を受け、

総会に臨む。一同に諮り承認された。

二、8月夏期学校「講座」について

栗原昭宜副会長より、今年の夏期学校は8月3日に栃木県にある「アキレス足利工場」の見学を行う。集合場所など詳細は未定。次回の理事会で報告をする、と説明。一同承認した。

三、「中堅社員研修」について

栗原昭宜副会長より、中堅社員研修会を今年は7月27日水曜日、午前10時より午後5時まで当ホールに於いて開催。講師はアジアリングの坪谷聡子先生にお願いし「売り上げと利益を上げる」、「スタッフ教育」と題し行う。参加者からテキストと昼食代として2000円を頂く。是非ご参加ください。と説明。承認された。

四、8月レクリエーションについて

松戸副会長より、前回説明の通り日程は8月18日木曜日に開催する。候補地は配布資料の通り「房総半島・笠森観音参拝と鯛の浦・小湊温泉の旅」を予定していると説明があった。場内に諮り一同承認をした。

五、FHAシューフィッター

養成講座日程について 矢代事務局長代理より、7月27日・29日の3日間、東京での講座を行う。参加希望者は、お早めに申し込んでください、と説明。

五、その他

栗原茂副会長より、輸入卸販売をしていた(株)ユーロパシフィックジャパンが民事再生申請を行った。負債総額は9億円。

さらにアパレル業界ではギャップの子会社(安価な商品を展開していたが、日本から撤退する。

日本市場の厳しさが伺える。その後、今後の各委員会などのスケジュールの確認を行った。

『中堅社員研修会』

参加者募集!

教育・研修委員会では人材育成の重要性に鑑み、中堅・若手社員を対象に「中堅社員研修会」を左記のように開催いたします。奮ってご参加ください。

☆開催日…7月27日(水)

午前10時～午後5時

☆会場…「西村記念ホール」

(東靴協会5階)

☆演題…「売上げ&利益を上げる」

「スタッフ教育」

☆講師…(株)アジアリング

坪谷聡子先生

☆参加費…一人一千元

(テキスト・昼食代)

問合せ…

TEL 03-3252-15656

(二社)東靴協会事務局

参加定員20名(先着順)

東京都中小企業景況調査 {4月}

業況：前月より4ポイント改善
見通し：改善への期待感が一服

卸売業			業 況						
対象数		回答数	4 月			今後3か月間 見 通 し (当月比)			
875		374	42.7%			悪い	良い	悪い	良い
			-100	0	100	-100	0	100	
衣料・身の回り品	1. 男 子 服								
	2. 婦 人 ・ 子 供 服								
	3. 靴 ・ 履 物								
	4. か ば ん ・ 袋 物								
	5. 装身具・身の回り品								

小売業			業 況						
対象数		回答数	4 月			今後3か月間 見 通 し (当月比)			
875		296	33.8%			悪い	良い	悪い	良い
			-100	0	100	-100	0	100	
衣料・身の回り品	1. 呉服・服地・寝具								
	2. 男 子 服								
	3. 婦 人 服								
	4. 子 供 服								
	5. 靴 ・ 履 物								
	6. か ば ん ・ 袋 物								
	7. 雑貨・身の回り品								
	8. 時 計 ・ 眼 鏡								
	9. ジュエリー製品								

景況についてのアンケート結果 (対象月…28年5月)

▶ 全体的な業況		
良い		0.0%
悪い		50.0%
変わらず		50.0%
▶ 売上げ		
前月比	増えた	12.5%
	減った	50.0%
	同じ	37.5%
前年同月比	増えた	12.5%
	減った	75.0%
	同じ	12.5%
▶ 販売価格は前月比		
騰貴した		0.0%
下落した		0.0%
同じ		100.0%
▶ 販売経費は前月比		
増えた		12.5%
減った		0.0%
同じ		87.5%

第64回

(一社)東靴協会

「夏期・レクリエーション」

毎年人気のバス日帰り旅行を、下記の通り開催いたします。多数のご参加をお待ちしております。

日時:8月18日(木)7:30発
参加費:3,000円(子供も同額)
募集:45名(先着順)

コース

- 協会前発→海ほたる→7:30発 (休憩)
- 笠森観音→小湊・鯛の浦→9:30着 11:40着(遊覧船)
- 満ちてくる心の宿「吉夢」→12:30着(昼食・入浴・休憩)
- 海産物まるたけ→神田着 14:40着(買い物) 18:00予定